

第77回秋季東北地区高等学校野球宮城県大会

□大会第7日目 9月28日(土)

準決勝 仙台市民球場 2時間 0分

石巻工業	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
古川学園	3	1	0	0	0	0	0	1	X	

【石】	33	8	1	0	0	3	4	8	1	0
【古】	34	12	4	2	2	4	1	11	1	2

(球) 佐藤 拓哉 (一) 小倉 貴仁 (二) 佐藤 圭 (三) 小松 宗夫
 【石】 遠藤 颯汰 伊藤 海斗
 【古】 木谷 真斗 櫻井 琉貴
 ▽暴投 なし ▽捕逸 なし

▽本塁打 なし
 ▽三塁打 なし
 ▽二塁打 野口 黒沢 (石) (古)

【石巻工業】		打数	安打	打点
(遊)	遠藤 颯汰	4	0	0
(投)左	早坂 太志	3	2	1
(捕)	岩槻 遼大	4	1	0
(右)	高松 駿希	3	0	0
(左)	伊藤 海斗	1	0	0
(投)	鈴木 淳大	4	0	0
(中)	高橋 海星	4	1	0
(二)	野口 裕雅	4	2	0
(一)	渥美 太誠	2	0	0
(三)				

【古川学園】		打数	安打	打点
(左)	黒沢 惇人	3	1	0
(右)	吉田 尊	3	1	0
(遊)投遊	菊地 奏汰	4	1	2
(一)	小川 友輔	5	1	0
(二)	大島 峻時	3	0	0
(捕)	佐藤 泉稀	4	3	2
(二)	大柳 悠音	4	2	0
(投)	木谷 真斗	1	0	0
(打)	小林 和輝	1	0	0
(遊)	蘇武 朝陽	0	0	0
(打)	門間 凱生	1	0	0
(投)	櫻井 琉貴	1	0	0
(中)	櫻井 清人	4	3	0

投手名	打数	投球数	球数	四球	三振	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
遠藤 颯汰	25	95	6	0	9	0	2	0	1	1
伊藤 海斗	9	36	2	0	3	0	0	0	0	0

投手名	打数	投球数	球数	四球	三振	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
木谷 真斗	14	50	4	0	4	0	0	0	1	0
菊地 奏汰	5	25	1	0	2	0	0	0	0	0
櫻井 琉貴	14	48	4	0	2	0	0	4	1	0

【評】
 石巻工、猛打で先制攻撃。序盤にあげた得点を3投手の継投で守り抜き、2大会連続の決勝進出。
 石巻工は、初回一・二番の長短打で作った無死1・3塁のチャンスに三番菊地のスクイズ（一前犠打）でまず1点、二死後2・3塁から六番佐藤泉のレフト前ヒットで2点を追加した。さらに2回も相手失策であげた1点を加え、試合の主導権を掴んだ。追う石巻工も、5回に長短打で1点を返すものの、序盤の2併殺などの拙攻もあり6回以降は相手エースの前に抑えられ、13大会ぶりの決勝進出を逃した。

準決勝 仙台市民球場 1時間 38分

東北学院榴ケ岡	0	0	0	0	0	0	0
仙台育英	0	4	0	2	0	0	0 1X

【東】	24	0	0	0	0	0	10	0	1	1
【仙】	27	9	6	4	4	3	1	4	0	0

(球) 森山 宏則 (一) 曾根 徳明 (二) 雁部 博昭 (三) 毛利 晃
 【東】 伊藤 泰雅 近藤 陽斗 後藤 翔太
 【仙】 井須 大史 竹内 颯
 ▽暴投 伊藤1(東) ▽捕逸 なし

▽本塁打 高田(仙)
 ▽三塁打 中岡(仙)
 ▽二塁打 なし (東) (仙)

【仙台育英】		打数	安打	打点
(中)	原 亜佑久	2	0	1
(二)	山中 琉空	3	0	0
(三)	中岡 有飛	4	1	0
(捕)	川尻 結大	3	1	0
(右)	土屋 瑠空	3	2	0
(左)	和賀 颯真	4	2	1
(一)	高田 庵冬	4	2	2
(投)	井須 大史	1	0	1
(打)	竹内 颯	1	0	0
(遊)	今野 琉成	2	1	1

【東北学院榴ケ岡】		打数	安打	打点
(左)	佐藤 浩佑	3	0	0
(捕)	佐々木 大	3	0	0
(二)投	後藤 翔太	3	0	0
(一)	平山 翔太	3	0	0
(右)	武田 琉平	3	0	0
(遊)	鈴木 幸心	3	0	0
(中)	阿部 真心	2	0	0
(二)	佐々木 琥	2	0	0
(投)	伊藤 泰雅	1	0	0
(打)	近藤 陽斗	0	0	0
(打)	鈴木 沙生	1	0	0
(二)	七 森 飛	0	0	0

投手名	打数	投球数	球数	四球	三振	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
井須 大史	12	59	4	0	0	0	0	0	7	0
竹内 颯	12	47	4	0	0	0	0	0	3	0

投手名	打数	投球数	球数	四球	三振	死球	暴投	ボーク	失点	自責点
伊藤 泰雅	13	68	4	0	5	0	3	1	0	3
近藤 陽斗	3	11	1	0	0	0	0	1	0	0
後藤 翔太	11	25	2	2	4	1	0	0	0	0

【評】
 準決勝、第2試合。仙台育英と学院榴ケ岡の一戦。
 先制したのは、育英。2回裏、四球と単打で無死一二塁とし、6番和賀の右前適時打で、得点した。続く7番高田の右前適時打、8番井須、9番今野の連続スクイズで4点を挙げた。4回裏、失策と中前安打で一死二三塁とすると、暴投と犠打で2点を追加した。8回裏、二死から7番高田の左越本塁打で7-0とし、試合を決めた。
 榴ケ岡は、1回裏、一死三塁のピンチを二重殺で凌ぐ守備を見せ、攻撃につなげたかったが、仙台育英、井須・竹内の投手リレーに無安打で抑えられ、悔しい敗戦となった。